

牛群検定通信 No88

～京都大学 久米新一教授 講演！～

毎年行っている「子牛生産・供給情報の活用研修会」において、京都大学の久米新一教授の特別講演を全国5カ所の会場で行います。酪農関係者であればどなたでも参加できます。どうぞお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。参加費は無料です。酪農家や学校関係者も歓迎します。

演題 「子牛の生産と育成管理について（仮題）」

- | | | | |
|------------|----------|------|--------|
| (1) 北海道・東北 | 9月15日(金) | 仙台市 | 東北農政局 |
| (2) 関東・甲信越 | 9月14日(木) | 東京都 | 全国家電会館 |
| (3) 東海・関西 | 9月22日(金) | 名古屋市 | 桜華会館 |
| (4) 中国・四国 | 9月21日(木) | 岡山市 | 国際センター |
| (5) 九州・沖縄 | 9月20日(水) | 熊本市 | 国際交流会館 |

申込方法 乳用牛群検定全国協議会HP「乳用牛群検定全国協議会」で検索
ご不明な場合は、お電話ください。T 03-5621-8921

～暑い日が続きます～

夏真っ盛り、暑熱対策を十分に行いましょう。簡単なことでもちょっとした工夫で大きく改善されることもあります。基本を見直しましょう。

(1) 牛に直接風が当たっていますか？

家庭用扇風機での風速目安

扇風機：弱 風速約 1 ～ 2 m 体感温度：気温を約 6 度程度下げます

扇風機：中 風速約 2 ～ 3 m 体感温度：気温を約 8.5 度程度下げます

扇風機：強 風速約 3 ～ 4 m 体感温度：気温を約 10.4 度程度下げます

(2) 夜間も送風していますか？

日本飼養標準によると、夏季に日中高温であっても夜間の気温が 22 度より下回れば、乳量の減少を緩和できると記されています。都府県の多くの地域では 7, 8, 9 月には夜間の最低気温が 22 度以上となってしまいますが、夜間の送風扇運転を積極的に行えば、体感温度を下げ、乳量減少を緩和できることを意味します。

(3) 十分に給水設備がメンテされていますか？

ウォーターカップの汚れや詰まり、水槽の汚れは特に気をつけてください。繋ぎ飼いの場合、産次を重ねた大きな牛と初産牛を並べると、初産牛が十分に飲水できないこともあります。フリーストールの場合でも、十分なスペースを取った適切な水槽の設置が必要です。

(4) 飼料給与を工夫しましょう

サイレージ TMR の 1 回給与を日中に行うと、サイレージの 2 次発酵で発熱し、牛舎の温度を上げてしまいます。また、飼料が変質するため食べ込みも悪くなります。夜間の涼しい時間帯に給与するようにします。